

高速高感度多色共焦点顕微鏡の利用手引き

(ver. 1.1)

仕様

倒立顕微鏡 ECLIPSE Ti (Nikon) に、スピニングディスク型のスキャナーヘッド CSU-X (Yokogawa) と EM-CDD カメラ DU897EM (Andor) を搭載した共焦点レーザー顕微鏡システムです。レーザーを 4 本 (405nm, 445nm, 488nm, 516nm) 実装し、褪色少なく高速高感度に多色蛍光の画像の取得が可能です。さらに、CSU-X と顕微鏡の間に光刺激ユニット FRAPPA (Andor) も装備し、光刺激による FRAP や色変換の解析も可能となっています。

利用する上での注意点

一連の操作につきましては、当研究室の方からご説明させていただきますが、依頼者のご使用に常駐しつづけることは差し控えさせていただきます。そのため、実際の使用に際しては、一般的な共焦点顕微鏡システムの原理に明るく、それら操作に比較的熟知されている方に限らせていただきます。

利用の流れ

- ① 事前打合せ
- ② 申請書の提出、審査。
- ③ 観察日程の打ち合わせ。
- ④ 資料を持参していただいて観察、データの取得。
- ⑤ 依頼者の研究室にて Image J 等によるデータの解析。

参考論文

特にございませぬ。

費用負担

基本利用情報に準じます。解析に必要な経費 (試薬、スライドガラスなど) や、利用者の旅費・宿泊費等は、原則として依頼者が負担してください。

Authorship

研究成果を発表する際は、Acknowledgments 等に以下の記載をお願いします。

「This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.」

また、支援内容によっては共同研究という形になることもあります。

連絡先

t-kato@bs.naist.jp 加藤壮英 (植物細胞機能研究室)

hasimoto@bs.naist.jp 橋本隆 (植物細胞機能研究室)

